

校長室だより

☆教育目標☆

自ら考え判断し、進んで行動できる富中生
＜生活心得＞ 時を守り 場を清め 礼を正す
令和2年3月13日発行 No.22
富岡市立富岡中学校 校長 中村 喜雄

☆☆3年生が大きく巣立っていきました・・・☆☆

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響で、全国で学校の休校の措置がとられています。本校では、本日、令和元年度第73回卒業式を厳粛に挙行することができました。無事、63名の卒業生が、大きな希望を胸に抱き、本校を巣立っていくことができたことを御報告いたします。この日を迎えるまで、生徒たちの健やかな成長を支えた保護者の方々をはじめ、地域の多くの方々の御支援・御協力の賜だと存じます。

この場をお借りしまして、深く感謝を申し上げますとともに、厚く御礼を申し上げます。

☆☆こまくさ(駒草)のように・・・☆☆

卒業式の式辞の中の話です・・・

「私は20代の時に、長野県と富山県にまたがる白馬岳に登りました。登る途中でたくさんの高山植物が咲いていて、とてもきれいでした。高さが3000メートル近くある山ですから、冬は猛烈に寒いです。それにもかかわらず夏には、たくさんのきれいな花が見られます。翌日、白馬岳から杓子岳という2812メートルの山に登りました。途中、岩だらけで高山植物でも育ちそうにない所に、3センチくらいの小さな淡い紅色の花が咲いていました。その花は、「こまくさ」でした。こまくさは、その美しさや他の植物が育つことのできないような厳しい環境の中で育つことから「高山植物の女王」と呼ばれています。花が咲くまでには、なんと5年もかかるそうです。この花は、このような砂と小石だけの場所に生えるため、50センチメートルから長いものでは2・3メートル程の長い根をしっかりと張るのです。そして、美しい花を咲かせるために、激しい雨、風、吹雪にも耐えられる強い根を張り、過酷な環境にも負けないようにじっと耐えているのです。こうして、じっと耐えることで、美しい花を咲かせるための強い根を大きく伸ばしていくのです。

卒業生の皆さんにも、この「こまくさ」のように、どんなに厳しくつらい時でも、一日一日を大切に、小さなことでも努力を重ね、いつしか困難にも耐える強くてしなやかな根をしっかりと張り、世界でひとつだけの可憐な花を咲かせられように、一度しかないかけがえのない人生を、自分らしく、自信と誇りをもって堂々と歩んでほしいと願います。

卒業式の式辞で、「こまくさ」を見て感動した時の私の強い思いを、巣立っていく卒業生たちに話しました。

＜厳しい環境の中で咲くこまくさ＞

夢はでっかく、根は深く・・・



(手前の花)

☆☆3年生保護者様へ・・・☆☆

本日は、お子様の御卒業、誠にありがとうございます。式辞の中でも述べさせていただきましたが、本日卒業式を迎えられ、卒業証書を手にする我が子の姿に、感動もひとしおだったのではないのでしょうか。これからの子育ては、今までにも増して、「後ろからそっと見守る」ということを意識したものになるでしょう。子どもたちは、多感な年頃でもあり、心揺れ動く年頃でもありますが、将来の「**真の自立**」に向けて、これまで以上に子どもたちの支えになって、共に歩んで行ってほしいと願っています。

3年間にわたり、皆様にとってかけがえのない大切な宝物をお預かりし、本校職員一同、「すべては生徒たちのために」の合い言葉のもと、生徒たちの健やかな成長を目指し全力を尽くしてまいりました。時には、保護者の皆様の期待に十分応えられなかったこともあったかと思いますが、生徒たちは、立派に成長してくれました。職員一同、このことを誇りに感じるとともに、この成長を保護者の皆様とともに喜びたいと思います。

最後に、この3年間、本校への御理解と多大なる御協力をいただきましたことに、厚く御礼を申し上げます。誠に、ありがとうございました。

